



2013年(平成25年)10月期

決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 なかはま ゆうじ
中浜 勇治

(東京証券取引所(ジャスダック市場)、証券コード:7827)

2013年12月20日

●目次

PART1 会社の概要	3	PART3 市場環境と今後の取組み	16
●プロフィール	4	●木材事業の市場環境 ①	17
●経営理念・沿革	5	●木材事業の市場環境 ②	18
		●木材事業:今後の取組み	19
PART2 2013年10月期の連結業績	6	●ハウス・エコ事業の市場環境①	20
1. 連結損益計算書	7	●ハウス・エコ事業の市場環境②	21
2. 売上高・当期純利益の増減要因	8	●ハウス・エコ事業:今後の取組み	22
3. セグメント業績		●アミューズメント事業の市場環境	23
●木材事業	9	●アミューズメント事業:今後の取組み	24
●ハウス・エコ事業	11		
●アミューズメント事業	13	PART4 2014年10月期の業績予想	25
●不動産事業	14	1. 連結業績予想(通期)	26
4. 連結貸借対照表及び連結キャッシュ・	15	2. 第2四半期連結累計期間 業績予想	27
フロー計算書		3. 業績予想の要旨	28
		4. 予想配当	29
		PART5 中期計画の概要	30
		●連結売上高	31
		●連結経常利益及び連結当期純利益	32
		●本資料お取扱上のご注意・IR担当窓口	33

PART1

会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	中浜 勇治(なかはま ゆうじ)
資本金	6億8,498万円
従業員数	233人(2013年10月末現在)
連結売上高	109億円(2013年10月期末)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、太陽光発電システムの施工・販売、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル TUI MARITIME S.A. (パナマ)

●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

経営理念

顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様にも利益を還元していく」という意味をあらわしております。

■ 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成元年10月	広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜材木株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場 (現東京証券取引所JASDAQ市場)
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成20年8月	木材事業姫路工場稼働開始
		平成22年2月	太陽光発電システムの施工・販売の開始

PART2

2013年10月期の連結業績

1. 連結損益計算書

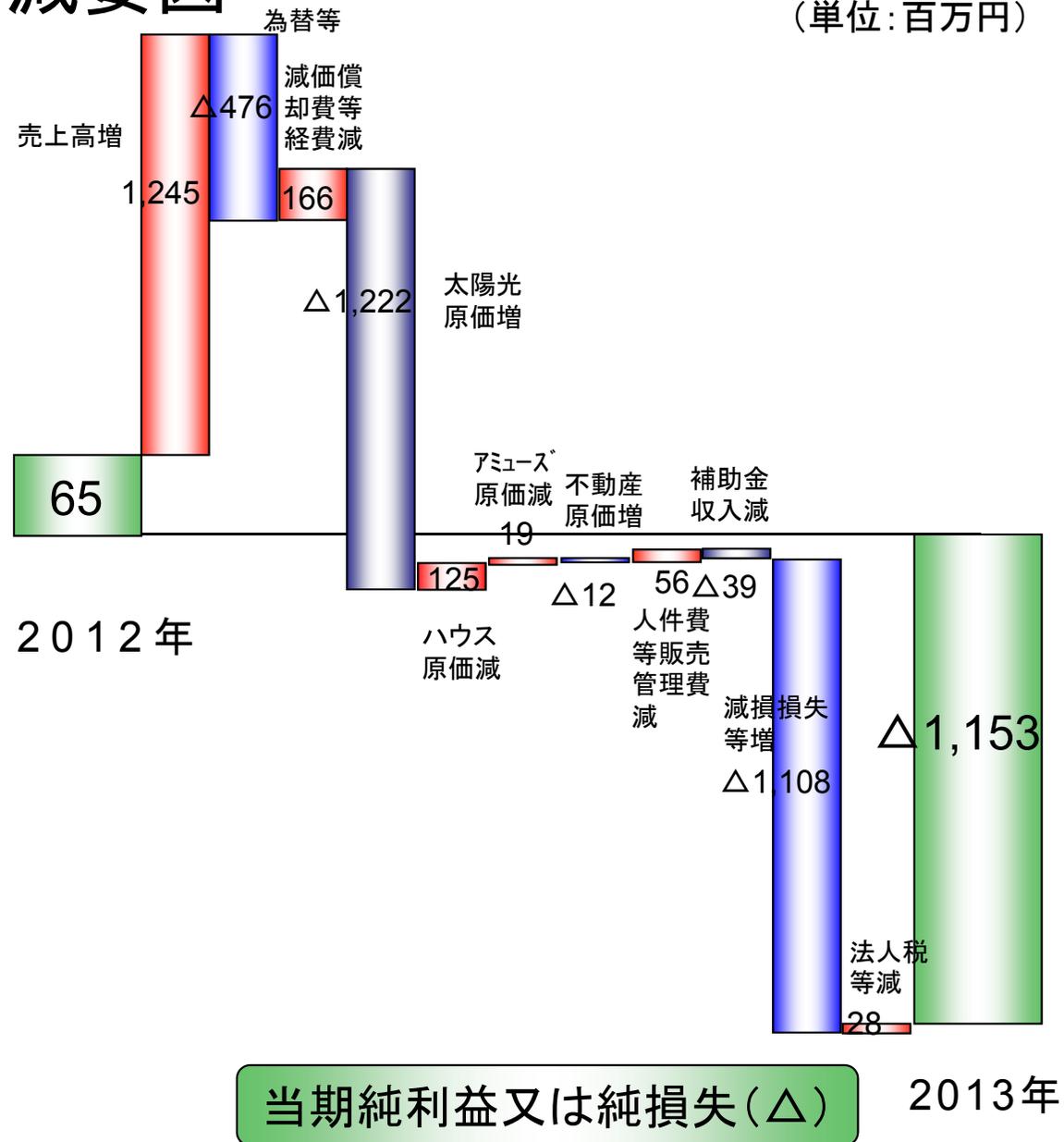
(単位:百万円)

	2012年	百分比	2013年 業績予想 (9月修正)	2013年	百分比	前期比	業 績 予想比
売 上 高	9,744	100.0%	10,998	10,989	100.0%	112.8%	99.9%
売上総利益	1,456	15.0%	1,301	1,302	11.9%	89.4%	100.0%
販売費及び 一般管理費	1,342	13.8%	1,301	1,285	11.7%	95.8%	98.8%
営業利益	114	1.2%	0	16	0.2%	14.4%	2494.7%
経常利益又は 経常損失(△)	79	0.8%	△87	△58	—	—	—
当期純利益又は 当期純損失(△)	65	0.7%	△100	△1,153	—	—	—
1株当たり 当期純利益	37.94円	—	△58.24円	△666.22円	—	—	—

- ハウス・エコ事業のメガソーラーを含む太陽光発電システム施工の増加により増収。
- 急激な為替円安により木材事業の原材料コストが上昇し、経常損失を計上。
姫路工場の減損損失等による特別損失の発生により当期純損失が拡大。

2. 売上高・当期純利益の増減要因

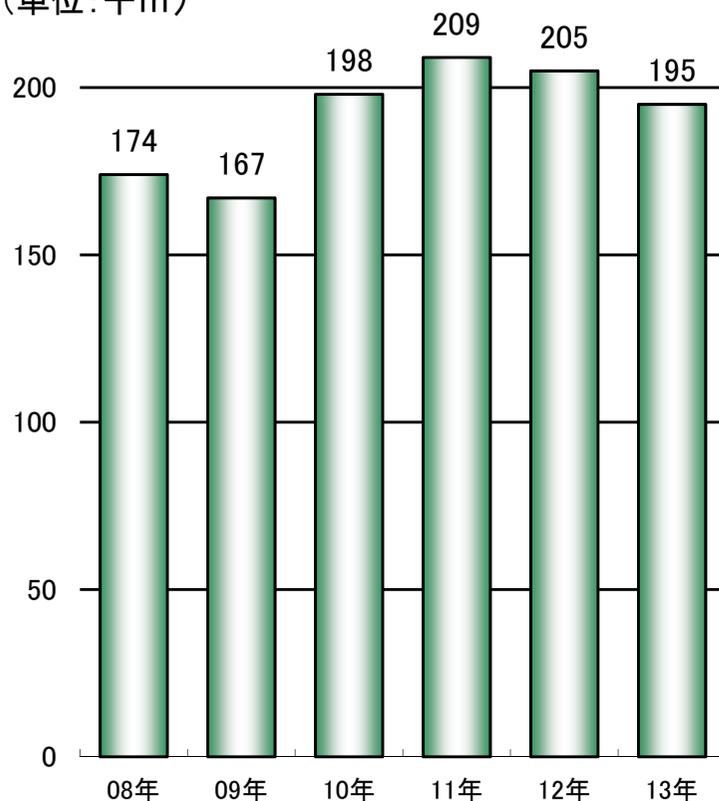
(単位:百万円)



● 木材事業

- 出荷量 年間合計195千m³(前期比94.9%)、期末10月単月の前年同月比89.2%
- 製品販売価格 年間平均前期比106.1% 期末10月単月の前年同月比118.4%
- 原木単価 年間平均前期比118.7% 期末10月単月の前年同月比139.4%
- 売上高はわずかに減収となるも、原材料コストの急激な上昇により営業損失を計上。

■ 当社製品出荷量の推移

 (単位:千m³)


■ 木材事業の業績

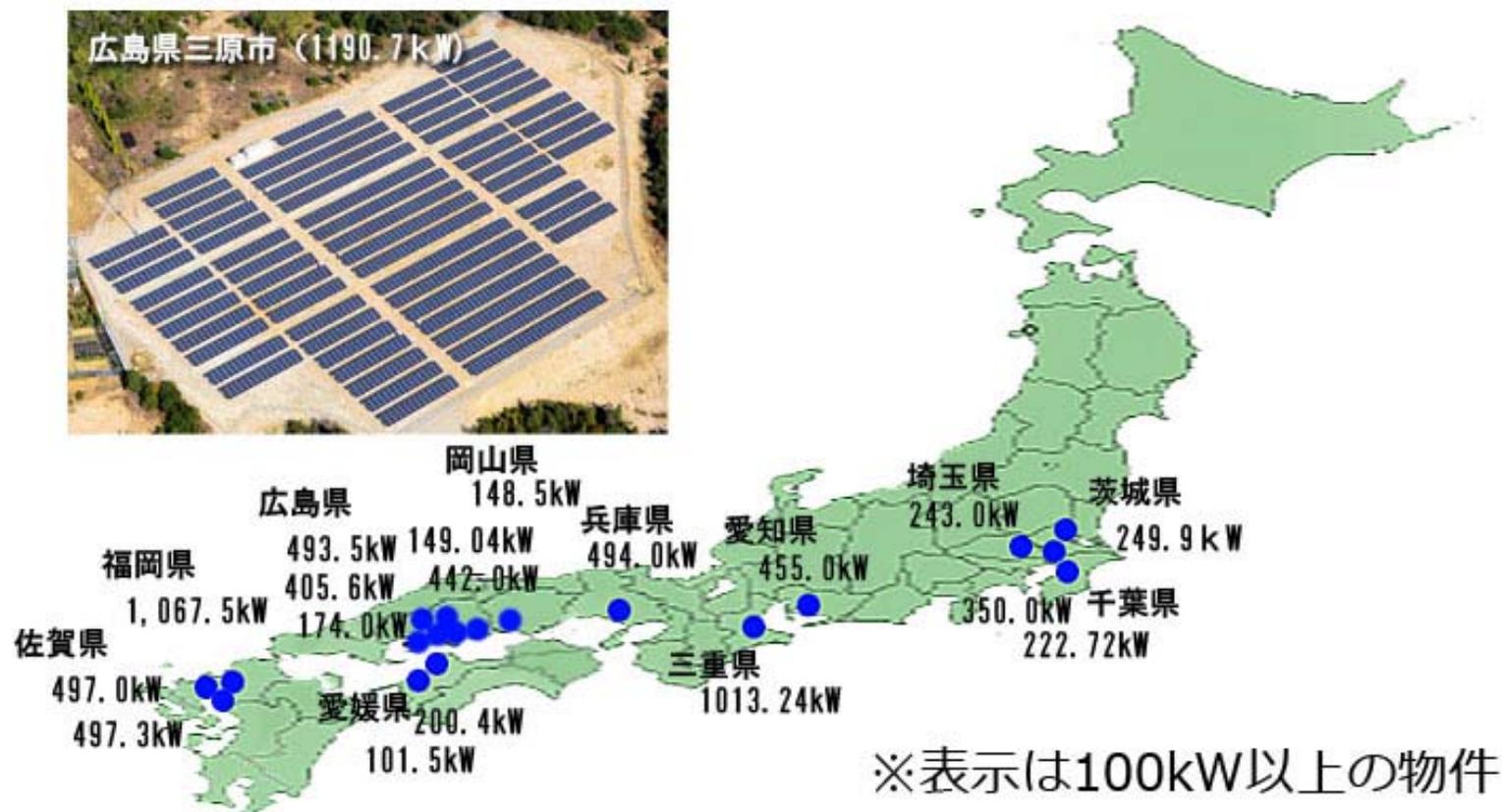
(単位:百万円)

	2012年 実績	百分比	2013年 実績	百分比	前期比
売上高	6,445	100.0%	6,425	100.0%	99.7%
営業費用	6,402	99.3%	6,683	104.0%	104.4%
営業利益又は 営業損失(△)	43	0.7%	△258	—	—
平均為替 レート(円)	79.01	—	89.2	—	112.9%

● ハウス・エコ事業

2013年10月期の主な施工実績

総施工kW数 8973.583kW 売上高 20億67百万円

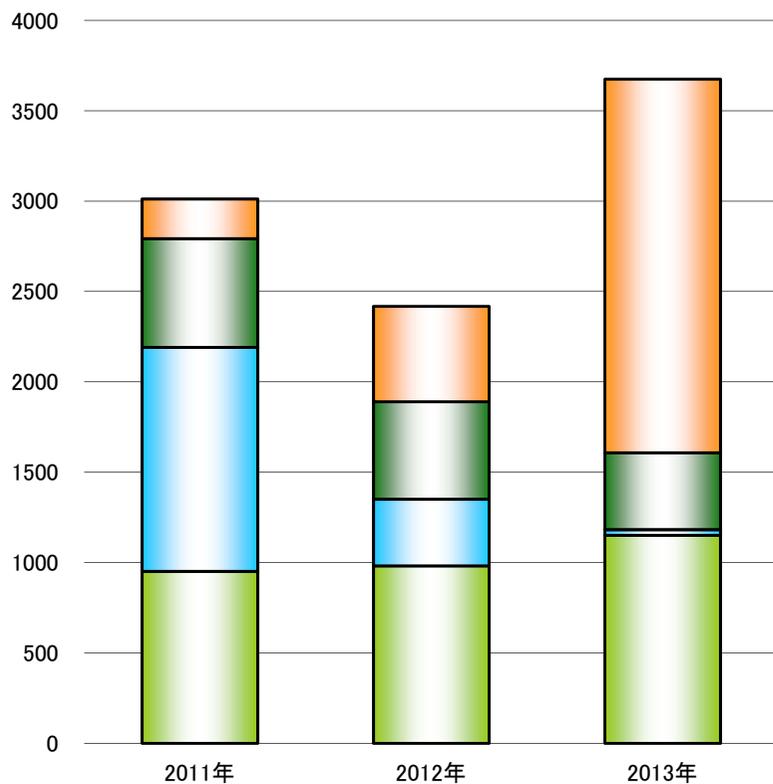


● ハウス・エコ事業

- 3件のメガソーラーを含む複数の大型案件が完工し、太陽光発電事業の売上が増加。
- 建築需要の増加でハウス販売物件も増加。

■ ハウス、太陽光売上の推移

(百万円)



□ハウス一般販売 □ハウス仮設住宅
 □ハウス賃貸 □太陽光

■ ハウス・エコ事業の業績

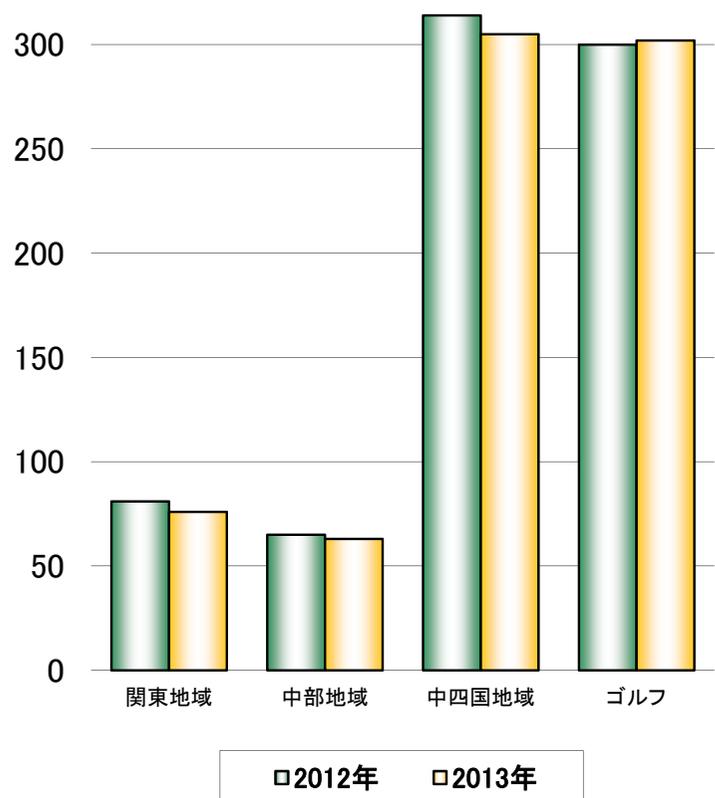
(単位:百万円)

	2012年 実績	百分比	2013年 実績	百分比	前期比
売上高	2,418	100.0%	3,675	100.0%	152.0%
営業費用	2,218	91.7%	3,303	89.9%	148.9%
営業利益	200	8.3%	371	10.1%	185.8%

● アミューズメント事業

- カラオケの既存店売上は微減。ゴルフ場売上は微増。
- 不採算店舗1店舗閉鎖、及び人件費、消耗品等のコスト削減により利益率向上。

■ 地域別カラオケ店舗既存店・ゴルフ場売上
前期比(百万円)



■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

	2012年 実績	百分比	2013年 実績	百分比	前期比
売上高	760	100.0%	747	100.0%	98.3%
営業費用	755	99.2%	729	97.6%	96.6%
営業利益	5	0.8%	18	2.4%	315.9%

● 不動産事業

- 売買物件の増加(2件→4件)及び賃貸物件の稼働率向上(102.9%)により増収
- 賃貸物件に大きな改修工事がなかったため増益。

■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2012年 実績	百分比	2013年 実績	百分比	前期比
売上高	119	100.0%	141	100.0%	118.7%
営業費用	69	58.0%	81	57.5%	117.7%
営業利益	50	42.0%	60	42.5%	120.1%

4. 連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書

■ 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

(百万円)	2012年	構成比	2013年	構成比	増減	主な要因
流動資産	5,422	50.5%	5,462	57.8%	100.7%	現金及び預金の増加、たな卸資産、前渡金の減少等
固定資産	5,320	49.5%	3,982	42.2%	74.8%	木材事業姫路工場の減損損失による資産の減少等
資産合計	10,743	100.0%	9,445	100.0%	87.9%	
流動負債	4,369	40.7%	4,388	46.5%	100.4%	一年内返済予定の長期借入金の増加、短期借入金の減少
固定負債	4,962	46.2%	4,778	50.6%	96.3%	長期借入金の減少
負債合計	9,332	86.9%	9,167	97.1%	98.2%	
純資産	1,410	13.1%	278	2.9%	19.7%	減損損失による利益剰余金の減少
負債及び純資産合計	10,743	100.0%	9,445	100.0%	87.9%	

■ 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2012年	2013年	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	174	813	減損損失の増加、前渡金の減少等
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	△137	社用資産の取得による支出の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△391	△288	長期借入金による収入の増加
現金及び現金同等物の期末残高	555	943	

自己資本比率

13.1% 2.9%

有利子負債比率

66.5% 73.0%

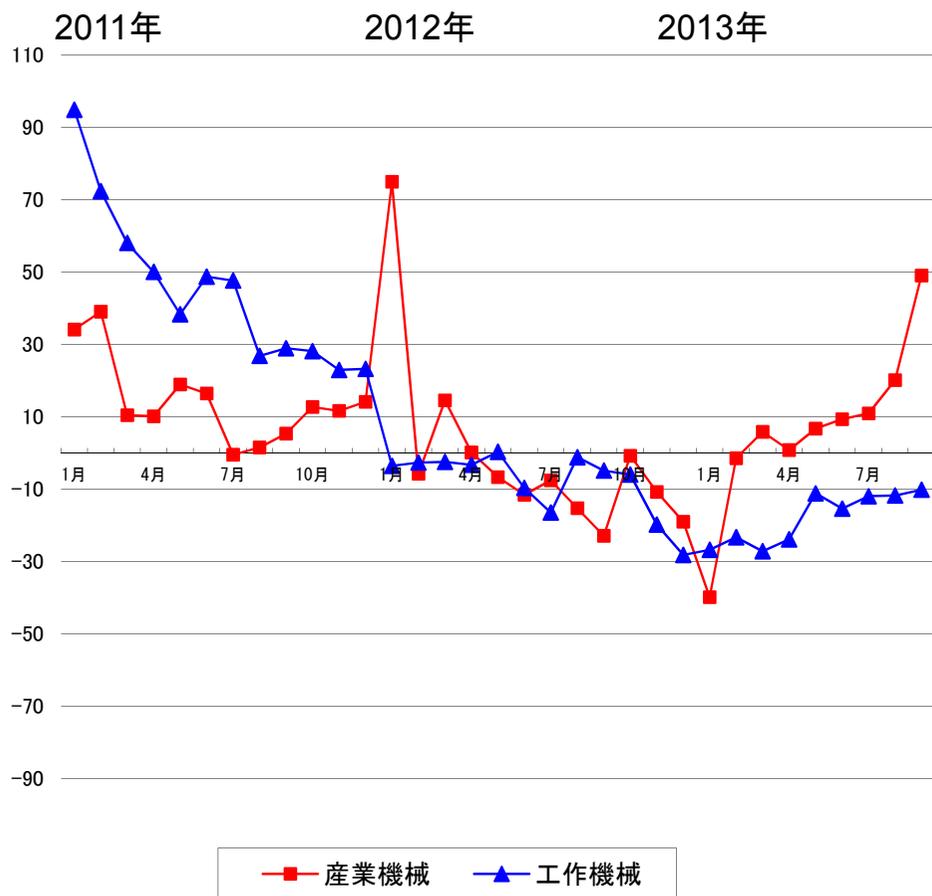
PART3

市場環境と今後の取組み

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械の受注状況

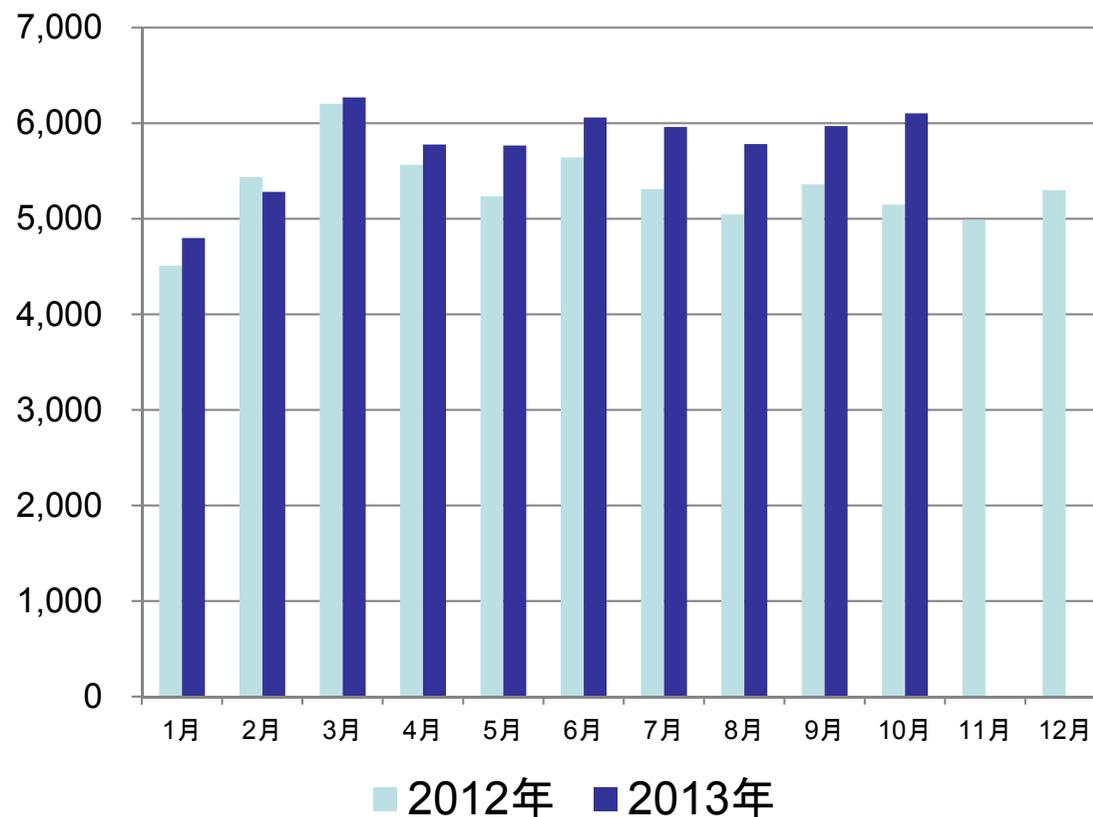
内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査
前年同月比 (%)



■ 輸出の状況

財務省 貿易統計

(十億円)

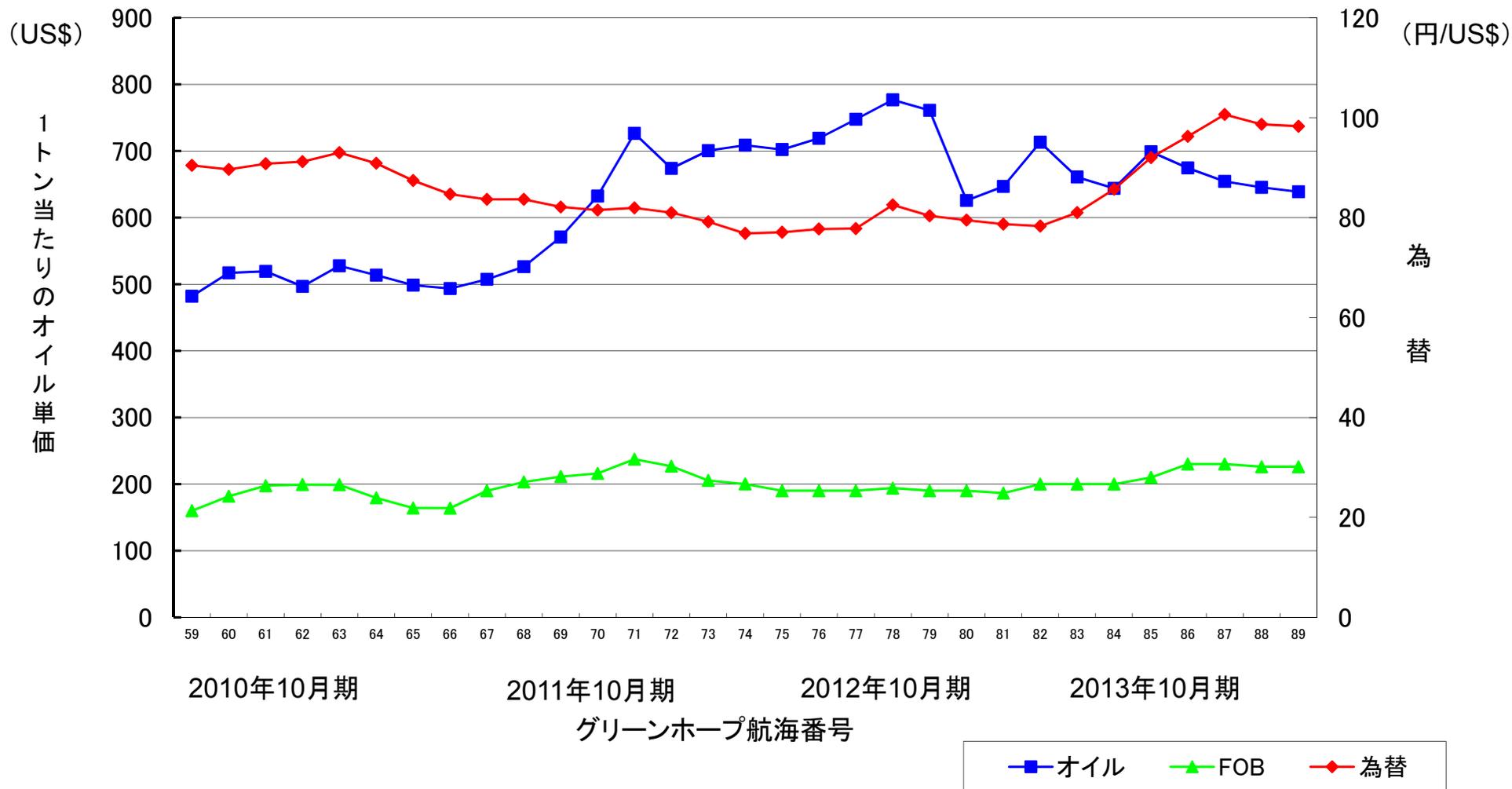


● 産業機械・工作機械等の受注、輸出共に回復傾向

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・オイル・FOBの推移

■ オイルは自社船の各航海毎の1トン当たりの単価をUS\$で表示しております。(左軸)
 ■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表していません。



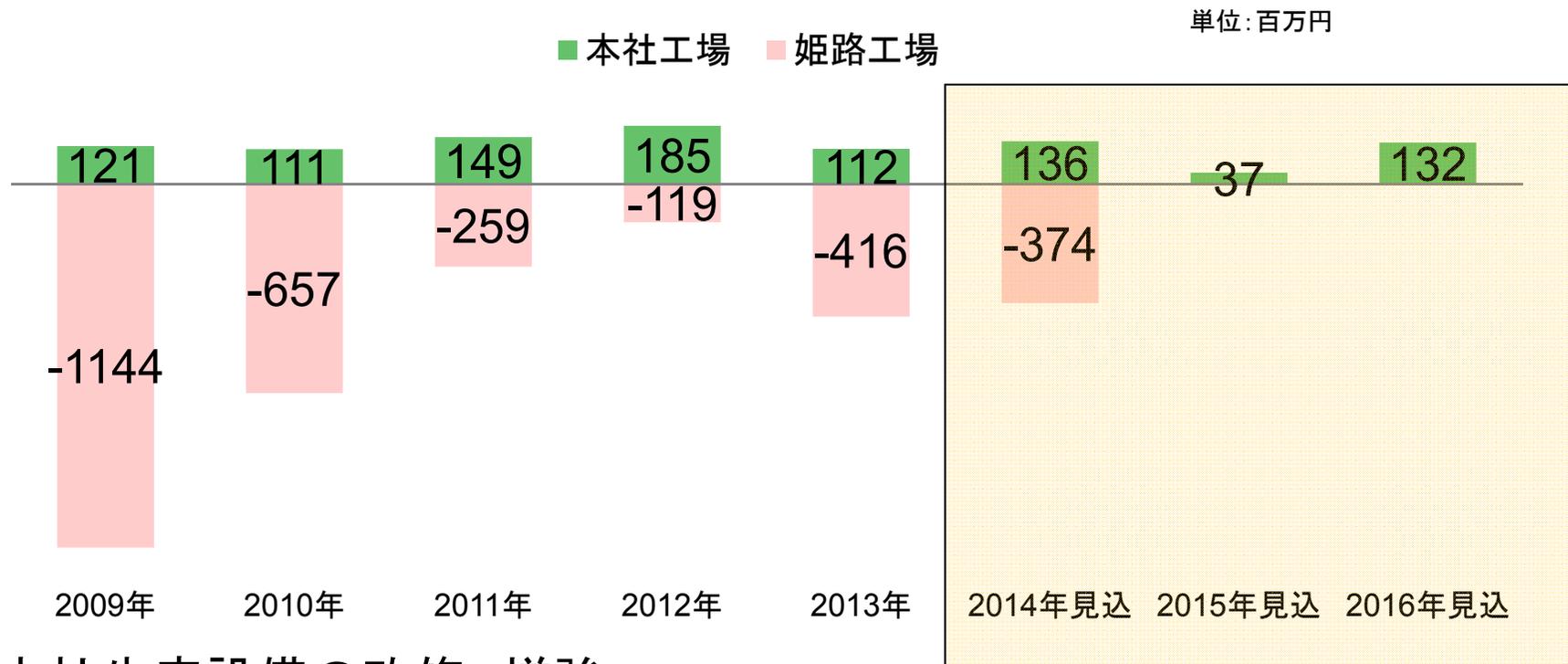
● 為替は急激な円安、FOBも上昇し高止まり。

※FOBとは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

● 木材事業：今後の取組み

■ 姫路工場の製造ラインを停止し、競争力のある本社工場へ生産を集約

営業損益の推移



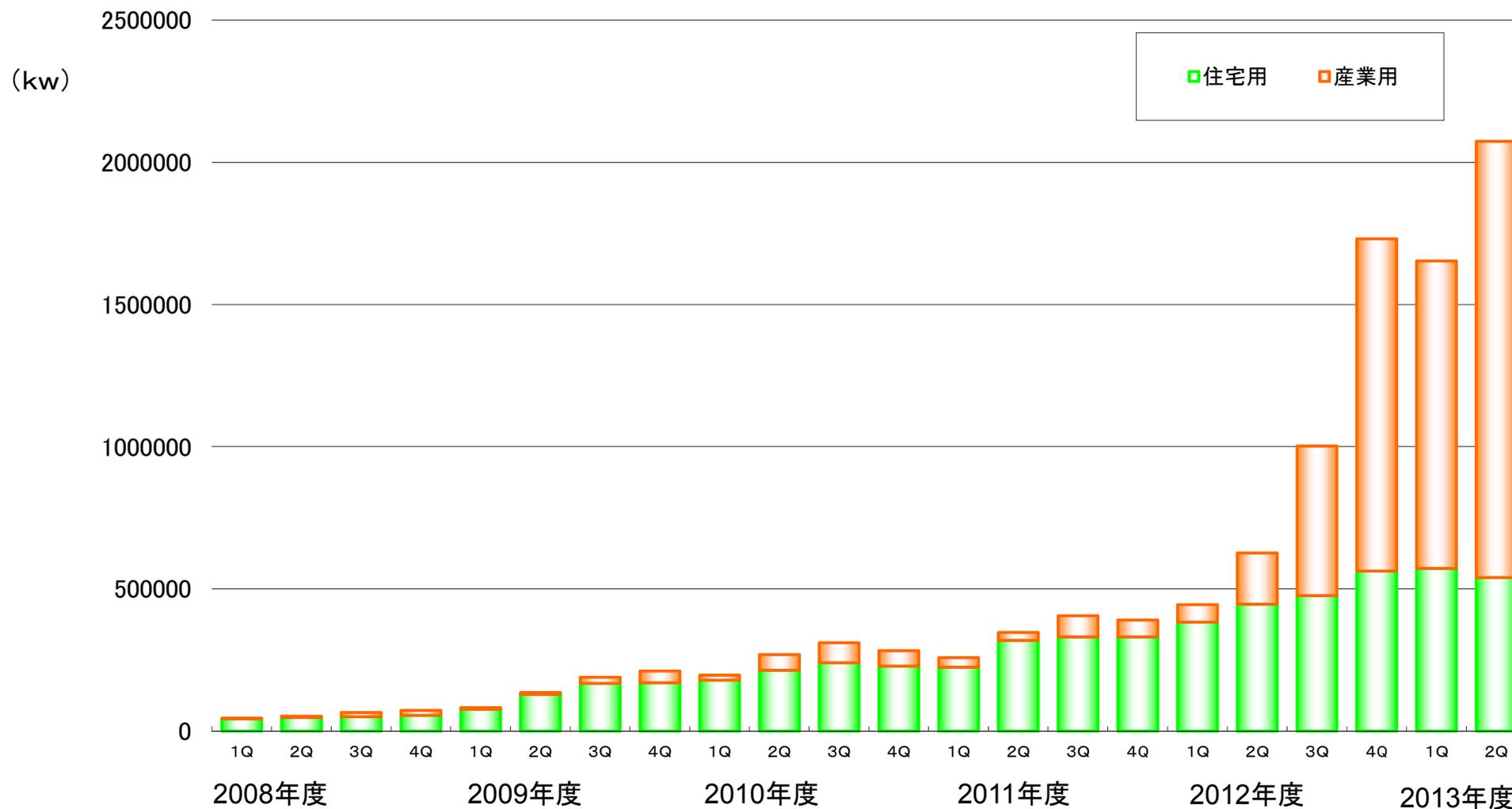
- 本社生産設備の改修、増強
- 販売価格の引き上げの継続
- 遊休資産等の有効活用・売却等により財務のスリム化・健全化

■ 2015年10月期には木材事業を営業黒字化へ回復させる。

●ハウス・エコ事業の市場環境①

■日本における四半期ごとの太陽電池出荷量の推移(国内向)

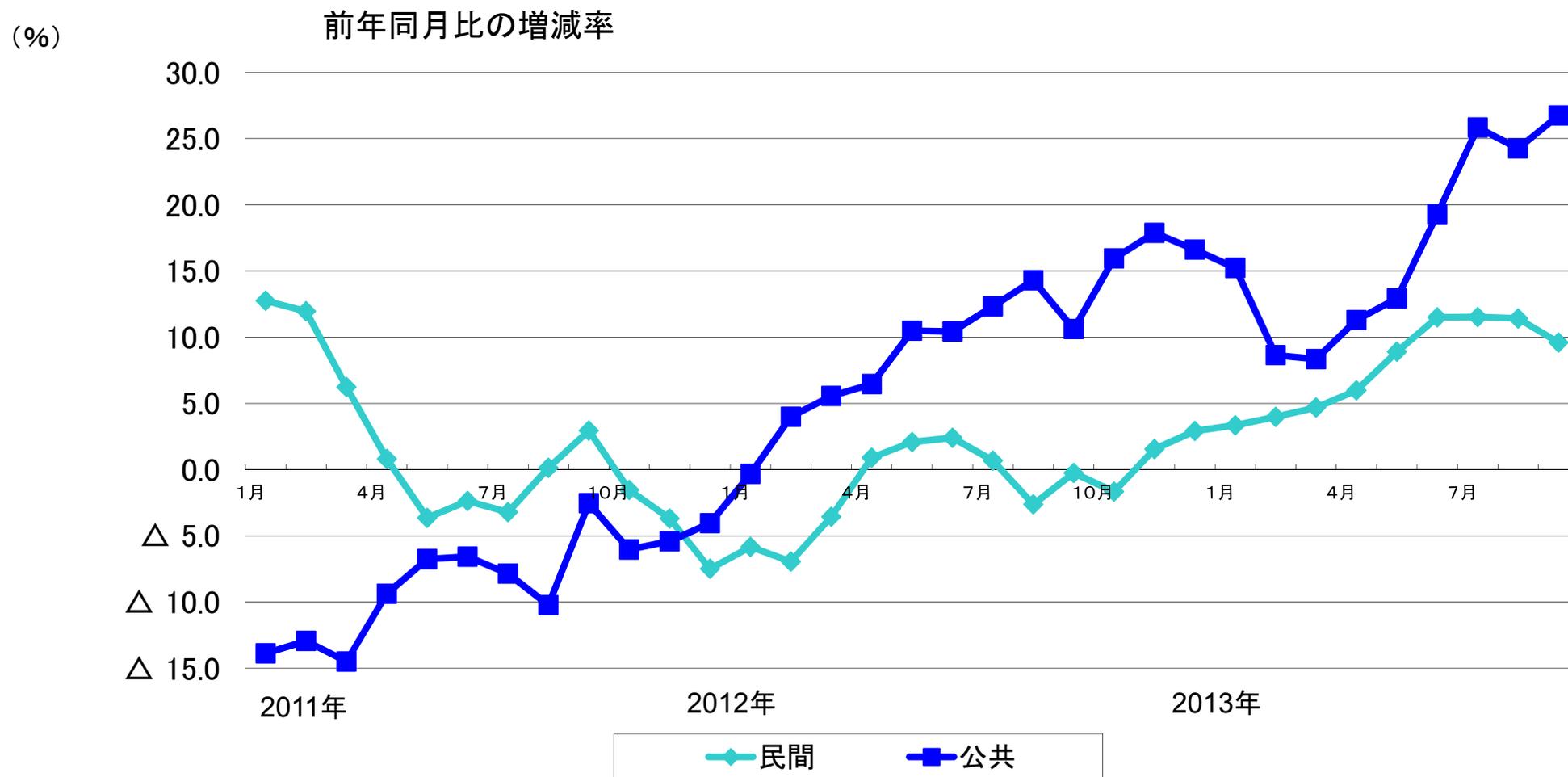
太陽光発電協会調べ



●産業用太陽光発電が急激に増加。2013年7～9月期には前年同期比で3.3倍の出荷。安価な海外製品が増加。

●ハウス・エコ事業の市場環境②

■建設総合統計(出来高ベース) 国土交通省



●建設需要は、公共工事、民需共に順調に回復

●ハウス・エコ事業：今後の取組み

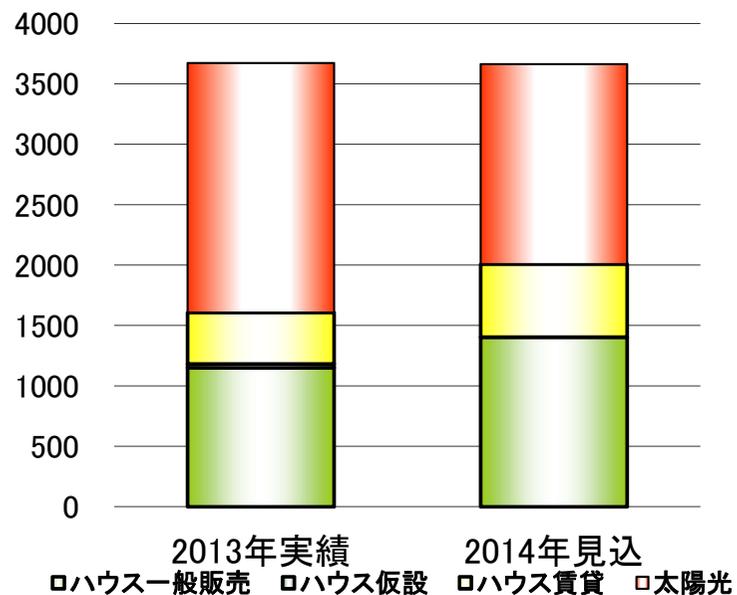
■産業用太陽光発電システムの販売体制を強化

- 営業に経営・管理職も含めた人材資源の投入

■旺盛な建築需要に対応

- プレハブハウス・一般建築の公共工事、民間の設備投資の受注を取り込む。

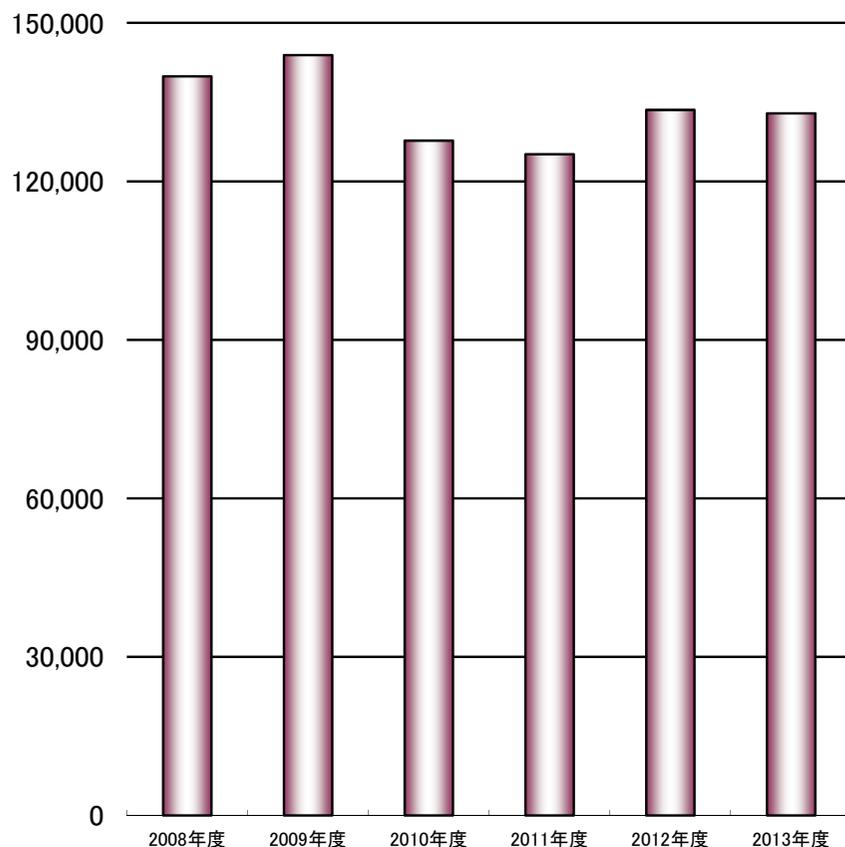
■ハウス、太陽光売上の見込み（百万円）



当社施工のメガソーラー（広島県三原市）

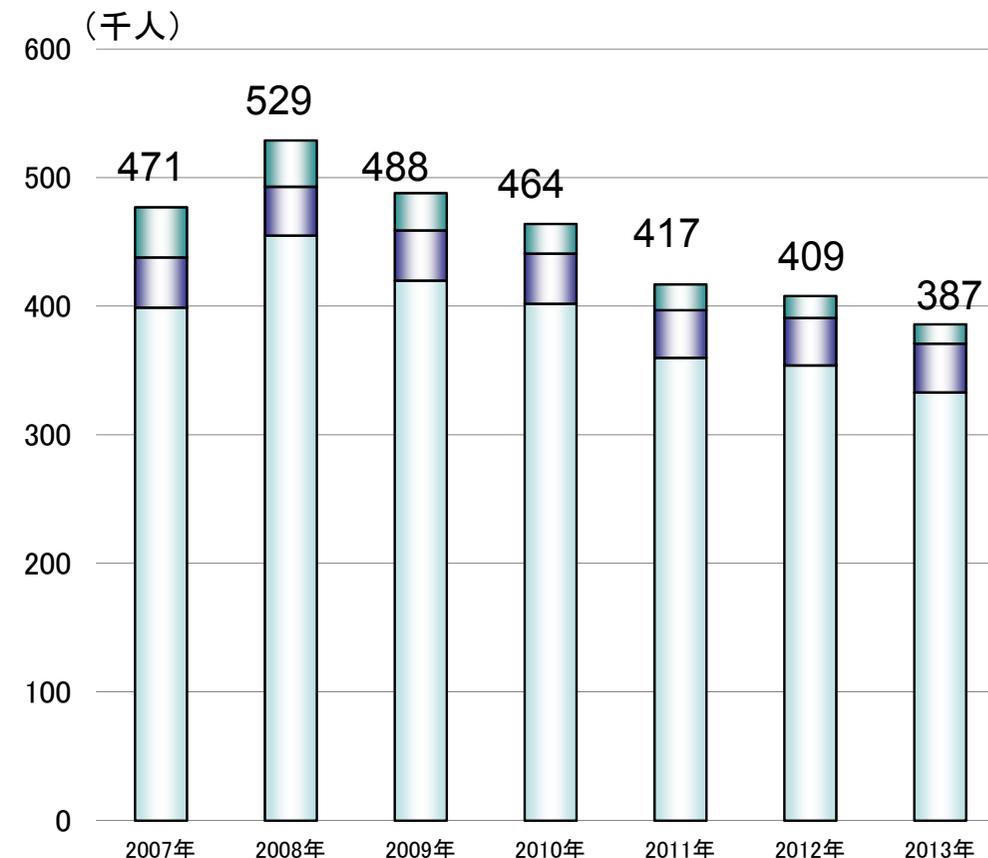
●アミューズメント事業の市場環境

■カラオケ上場5社売上高推移 (百万円)



上場しているカラオケ5社(シダックス、第一興商、AOKIホールディングス、鉄人化計画、コシダカ)の決算短信をもとに、カラオケ事業の売上高の合計を掲載しております。

■当社グループのアミューズメント事業の利用者数 (千人)



□カラオケ □ゴルフ □岩盤浴

●カラオケ大手チェーン店は、売上高が微減。

●当社の利用者数は、前期比カラオケ(△6.0%)、岩盤浴(△10.0%)、ゴルフ(+0.2%)

●アミューズメント事業:今後の取組み

■サービスの基本教育の徹底

- 接客、清掃、基本オペレーション業務の徹底教育によるサービスの向上

■既存店舗の収益力の向上

- 全社統一イベントの定期的な企画と実施
- 全店統一シーズンメニューの実施
- 不採算店舗の閉鎖による収益性の改善



PART4

2014年10月期の業績予想

1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	2013年	百分比	2014年	百分比	前期比
売上高	10,989	100.0%	8,691	100.0%	79.1%
売上総利益	1,302	11.9%	951	11.0%	73.1%
販売費及び一般管理費	1,285	11.7%	1,031	11.9%	80.2%
営業利益又は損失(△)	16	0.2%	△79	—	—
経常損失	△58	—	△176	—	—
当期純利益又は損失(△)	△1,153	—	114	6.6%	—
1株当たり当期純利益 又は損失(△)	△666.22円		66.15円	—	—

- 木材事業の姫路工場の操業停止により減収、営業損失・経常損失計上。
- 資産の売却による特別利益により当期純利益は黒字化を見込む。

2. 第2四半期連結累計期間 業績予想

(単位:百万円)

	2013年 第2四半期	百分比	2014年 第2四半期	百分比	前期比
売上高	5,912	100.0%	4,944	100.0%	83.6%
売上総利益	851	14.4%	536	10.9%	63.0%
販売費及び一般管理費	690	11.7%	570	11.5%	82.7%
営業利益又は損失(△)	160	2.7%	△34	—	—
経常利益又は損失(△)	119	2.0%	△72	—	—
四半期純利益又は損失(△)	101	1.7%	△78	—	—

- 第2四半期(累計)は、姫路工場操業停止に向けた減産等により営業利益、経常利益、四半期純利益ともに損失を計上。

3. 業績予想の要旨

- ◆ 木材事業の姫路工場操業停止による減産、在庫処分販売等で減収、損失計上
- ◆ 為替レートは1ドル100円を想定
- ◆ 資産の売却による特別利益
- ◆ 産業用太陽光発電システム(売上見込16億)とプレハブハウスの需要の増加で増益
- ◆ アミューズメント事業の採算性の改善による増益
- ◆ 不動産事業の売買物件減少による減収・減益

4. 予想配当

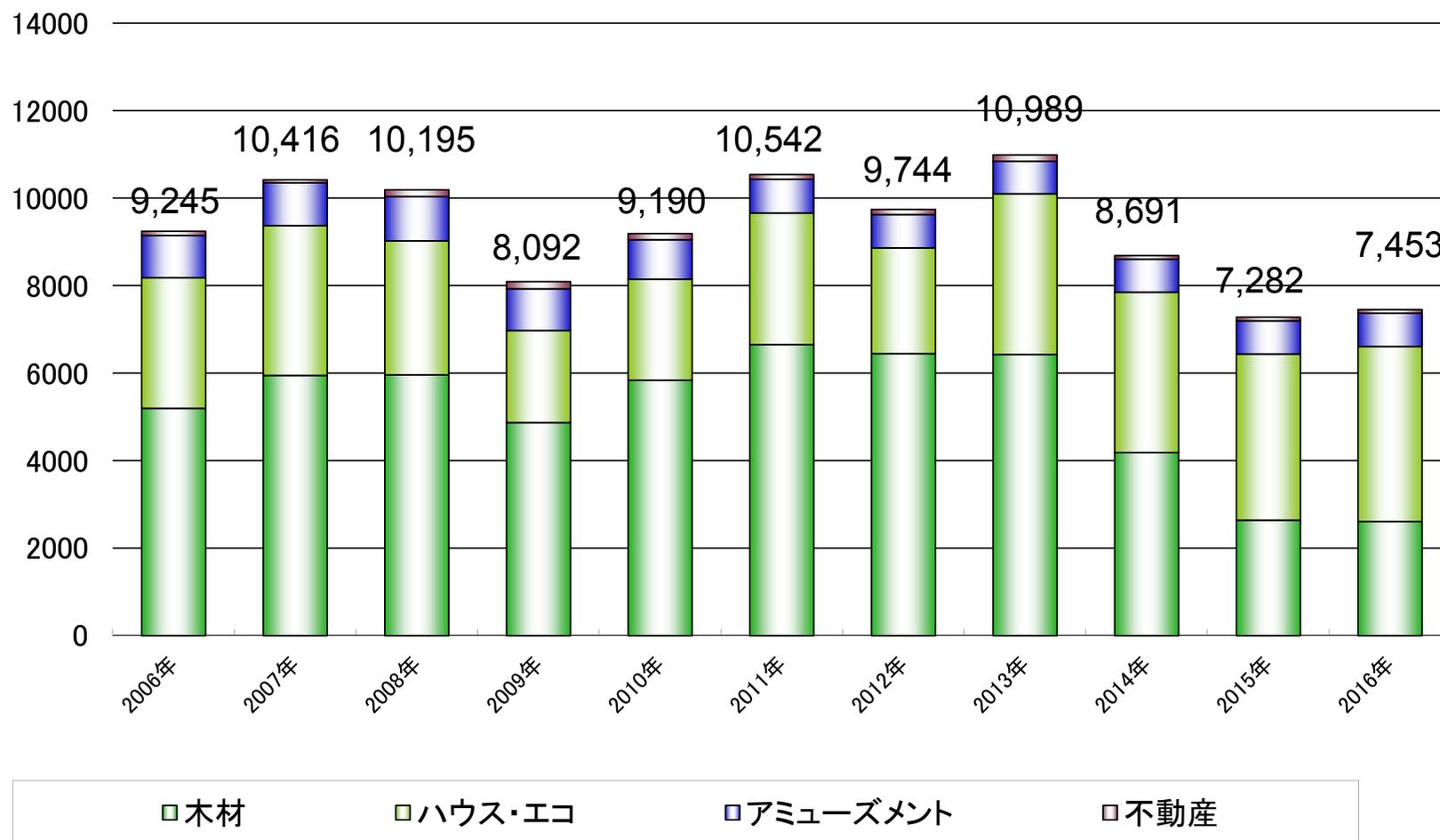
	期末配当	配当性向
2013年 10月期	無配	—
2014年 10月期	無配	—

PART5

中期計画の概要

● 連結売上高

(百万円)



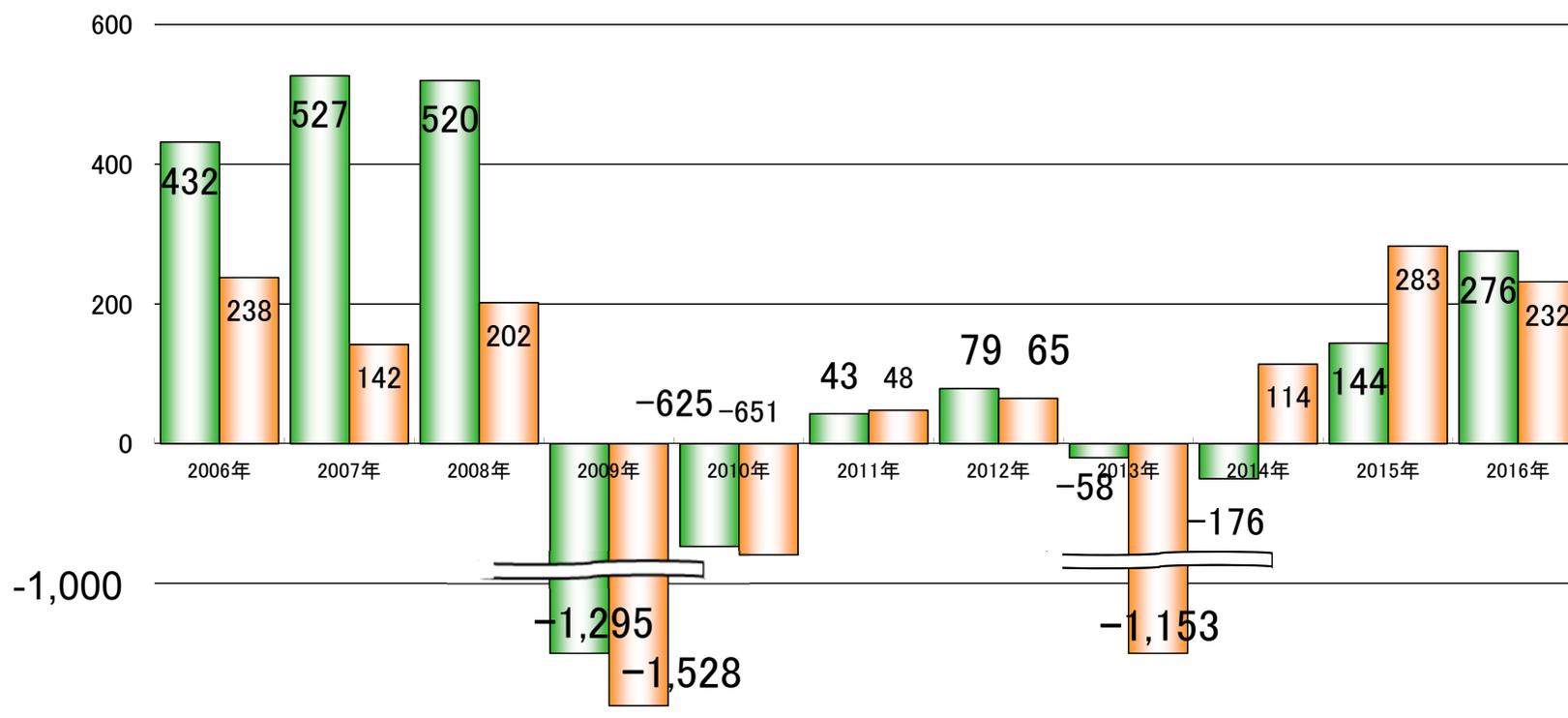
木材事業は、姫路工場の操業停止により減収
 ハウス・エコ事業は、産業用太陽光発電システムと堅調な建築需要を取り込む。

● 連結経常利益及び連結当期純利益

(百万円)

□ 連結経常利益

□ 連結当期純利益



- ・ 木材事業は競争力のある本社工場に生産を集約し、適正な製品販売価格を維持することで2015年10月期黒字化を見込む。
- ・ ハウス・エコ事業は産業用太陽光発電システムとハウスの拡販により、増益を見込む。

●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



株式会社 オービス 経営企画室 中奥 淳史

Tel. 084-934-2621(代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: ir@orvis.co.jp

URL: <http://www.orvis.co.jp>